

- ・2面…災害への備えは大丈夫？「平成18年7月豪雨」を教訓に
- ・3面…湘南ひらつか夏まつり

特集(4・5面)…子どもの成長に読書のススメ

●発行 平塚市 ●編集 企画部広報課
〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号
電話 23-1111・35-1111 FAX 23-9467
http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/
●発行部数 103,000部(毎月1日・15日発行)



子ども読書活動推進計画

港・花水・神田・山下小学校区がモデル地区に
子どもたちの読書活動を
地域の力で応援しよう。



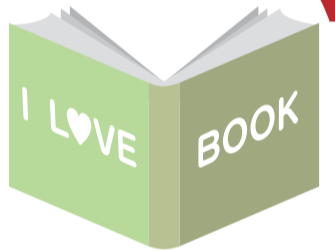
写真は7月21日に開かれた「花水ブックフェスティバル」を楽しむ子どもたち。上から「おはなし会」、「人形劇」、「オリジナルしおりづくり」



4・5面でも子どもの読書活動の特集しています。

- モデル地区事業・今後の予定
- 夏休み読み語り講座／8月22日(火)／神田地区子ども読書推進協議会
- 読み語り講習会／8月25日(金)／地域子ども読書推進協議会(山下)
- 本のリサイクル活動の呼びかけ／港地区子ども読書推進協議会

みんなみんな、本が大好き



平塚市では「子ども読書活動推進計画」を策定し、家庭や地域、学校などが連携協力しながら子どもの読書活動を進めていくための環境づくりをしています。その一環として今年、港小学校、花水小学校、神田小学校、山下小学校の四校を拠点とする地区を「子ども読書活動推進モデル地区」に指定しました。今回、モデル地区の一つである花水地区の公民館で開かれた「花水ブックフェスティバル」から、地域における子ども読書支援を探ってみました。

◆問い合わせ先 社会教育課(☎35-8123)

小・中学校が夏休みに入った七月二十一日、花水公民館で開かれた「花水ブックフェスティバル」には、雨の降りしきる中、たくさんの子どもたちが集まりました。ボランティアスタッフによる「おはなし会」や「読み語り」では、わくわくしたりドキドキしたりと、みんなが真剣な表情で聞き入ります。ほかにも、人形劇の上演や映画の上映、本のしおり作り、古本市など様々な活動が繰り広げられ、子どもたちは楽しく遊び、学びました。

子ども読書活動推進計画

平塚市では昨年三月、「子ども読書活動推進計画」を策定し、家庭や学校、地域が互いに協力しながら子ども読書活動を進めていくための環境づくりを始めました。この計画の策定にあたっては、市民のみなさんから数多くのご意見をいただきました。その中から見えてきたことは、「子どもが読書習慣を身に付けていくうえで、家庭の果たす役割が非常に大きい」ということでした。親子のコミュニケーションを豊かにする乳幼児期の「読み聞かせ」などは、子育てにおいても大切な要素になります。

「推進モデル地区」の指定

今回、「子ども読書活動推進モデル地区」に指定したのは、港小学校、花水小学校、神田小学校、山下小学校の四校を拠点とする地区です。これらの地区には、地域の小・中学校や幼稚園、保育園、高等学校

もっともっと本を読んでもらいたい

花水地区子ども読書活動推進協議会会長 諸山朝子さん

花水台保育園で、去年の春から「読み聞かせ」をしているのですが、花水公民館で活躍する「あすなろお話し会」の人たちなど10人くらいの方がバックアップしてくれています。6月に3回目を実施したときには、参加者が当初の3倍くらいにまで増えていました。「どうしてかな?」って思ってたんですけど、参加した方たちからお話を聞いてみると、赤ちゃんに絵本を読んであげる「ブックスタート」という取り組みに参加して、「読み聞かせっておもしろいな」、「楽しいな」と感じたそうで、それで誘い合わせて来てくれたのです。「ブック

スタート」が次の読書活動につながっているんだなと感じました。本を読むことを勉強のひとつとして考える方が多いですが、それよりも親子の関係をもっと深いものにした、友達や仲間をつくったりということにもつながっているんですよ。



みなさんのご協力が まちづくりに役立っています

平塚市の基金

市民のみなさんや企業、団体の方々からの寄付金と市費を合わせて基金とし、この基金から生じる利子により、それぞれの目的にあった様々な事業を実施しています。
みなさんの温かいご協力をお願いします。



平塚市みどり基金

- ・目的 緑化の推進や緑の保全、緑化の普及など
- ・対象事業 公共施設への大型プランターの設置による緑化の推進、保全樹木などの保護事業、緑化まつりの実施など

▷担当 みどり公園課(内線2425)

平塚市社会福祉基金

- ・目的 地域福祉やボランティア活動の支援など
- ・対象事業 地区社会福祉協議会の活動事業への助成、ボランティアリーダーの養成、視力障害者に対する点字図書購入費の助成など

▷担当 社会福祉協議会(☎33-2333)

平塚市スポーツ振興基金

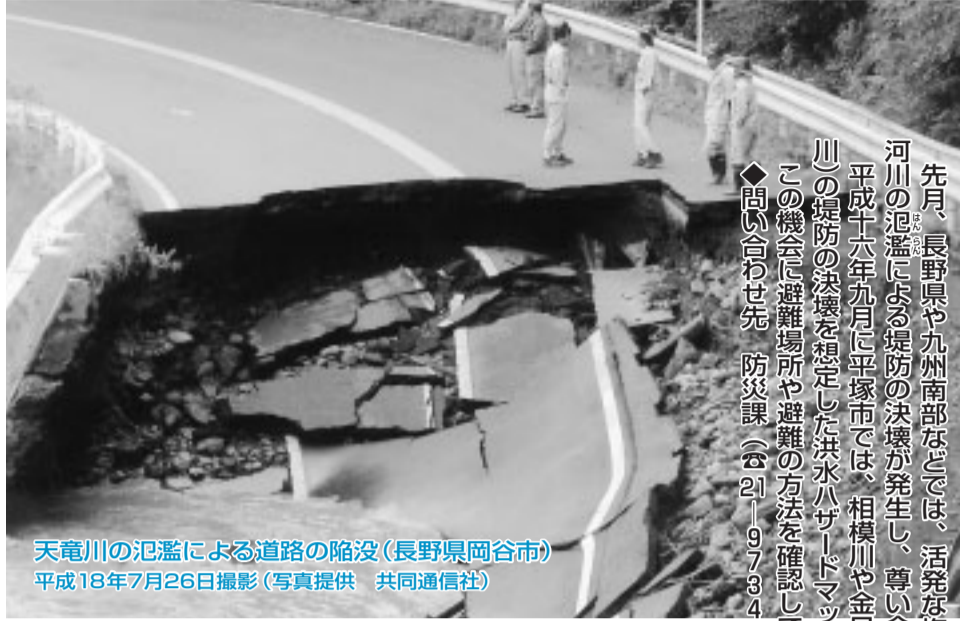
- ・目的 市民スポーツの普及・振興など
- ・対象事業 スポーツ教室・講習会・競技会などの開催、スポーツ団体などへの助成、スポーツに関する情報の収集・提供など

▷担当 スポーツ振興財団(☎35-0102)

平塚市文化振興基金

- ・目的 市民文化の振興など
- ・対象事業 市主催の芸術文化事業、創造的な文化活動の支援事業、文化活動を促進するための環境整備事業、美術品・資料の購入取得など

▷担当 文化行政推進室(☎32-2235)



天竜川の氾濫による道路の陥没(長野県岡谷市)
平成18年7月26日撮影(写真提供 共同通信社)

災害への備えは大丈夫ですが 平成十八年七月豪雨を教訓に

先月、長野県や九州南部などでは、活発な梅雨前線の影響で土砂崩れや、河川の氾濫による堤防の決壊が発生し、尊い命が奪われました。
平成十六年九月に平塚市では、相模川や金目川水系金目川、鈴川、渋田川の堤防の決壊を想定した洪水ハザードマップを作成しました。
この機会に避難場所や避難の方法を確認しておきましょう。

◆問い合わせ先 防災課(☎21-9734)



事前に確認、早めの避難が大切です

この「洪水ハザードマップ」を事前に確認し、自分の住む地域の浸水の程度や避難場所を確認しておきましょう。
避難は一時的ですが、被害は自分や家族の一生を左右することもあるので、いざというときには、早めの対応をお願いします。

防災安全部防災課 佐藤剛主任

集中豪雨で得られた 教訓とは

今回の豪雨では、避難勧告後の対応が生死を分けたといわれています。
自分だけは大丈夫というのは禁物です。人はどうしても目の前に災害が迫ってこないとい行動を起こしてしません。しかしそれが明暗を分けることとなります。

平塚は幸い今回の大雨では大きな被害は報告されていませんが、長く降り続く雨の影響は見えないところで進んでいます。
もし「避難勧告」が出たら避難行動を開始し、「避難指示」が出たときには直ちに

家族みんなでご参加を
総合防災訓練を実施します

総合防災訓練を実施します

家族みんなでご参加を

神奈川県は、東海地震、南関東地域直下型地震、神奈川県西部地震などの発生切迫性が指摘されているほか、長期的には南関東地震も心配されています。
そこで今年度も、防災意

識を高めていただくために地震が発生したことを想定し、自主防災組織を中心に訓練を実施します。

完了するように、日ごろから家族で避難場所などについて、話し合っておきましょう。
ハザードマップを活用しましょう

市では、平成十六年九月一日発行の広報ひらつかで防災特集号として、大雨で河川が氾濫したときに予想される浸水区域や浸水する深さ、区域ごとの避難場所を示した「洪水ハザードマップ」を作成し、配布しました。このマップは、防災課や公民館などで手に入れることができます。

この機会に災害への備えをしておきましょう。

市営住宅の入居者を募集します

入居を希望する方は、市役所一階案内窓口、建築課(市役所四階)、駅前市民窓口センター(MNビル十一階)公民館などでお配りする申込書でお申し込みください。

▽受け付け日時 9月4日(月)～6日(水)午前9時～午後5時
▽受け付け場所 市役所D会議室(南附属庁舎2階)
▽入居募集住宅
【一般世帯用】
・虹ヶ浜住宅 2戸
・虹ヶ浜西住宅 1戸
・龍ヶ丘住宅 2戸

【単身世帯用】
・東中原住宅 3戸
・田村宮の前住宅 4戸

▽主な申し込み資格
①平塚市に1年以上住民登録・外国人登録をしている
②収入が基準内
③市税などの滞納がない
④20歳以上または既婚
⑤夫婦や親子主体の家族
※⑤は一般世帯の資格
▽入居予定日 11月1日(水)
お問い合わせは、建築課(☎21-9734)へ。

8月納期の市税・手数料

- ・市県民税 (第2期)
 - ・国民健康保険税 (第3期)
 - ・介護保険料 (第3期)
 - ・清掃し尿従量手数料(第5期)
- ◆納期最終日 8月31日(木)
コンビニで納められるバーコード付き納付書は、切り離してお送りします。
納期の間違いにご注意ください。
問 市税総務課(☎21-8769)

市長が行きます あなたの会議

学びトーク

市民グループ 募集

市民グループのみなさんが開く会議などに市長が出席します。福祉や環境、教育など、まちづくりについて語り合い、意見交換しませんか。

- ◆日時 ①10月13日(金) 午後6時～9時
- ②10月26日(木) 午後1時30分～4時30分 ※左の時間のうち2時間以内
- ③11月8日(水) 午後6時～9時
- ④11月19日(日) 午後2時～5時

- ・会場は用意してください
- ・政治、宗教、営利を目的とした催しや集会は対象外です
- ・参加人数は30人以内をお願いします
- ・各日1グループ(計4グループ・抽選)

◆お申し込みは、①②は9月15日(金)まで、③④は10月13日(金)までに、公民館や市役所1階案内窓口などにある申込書を郵送またはファクスで市民情報・相談課(〒254-8686浅間町9-1・FAX21-9609・☎21-8764)へ。

No.5

次期総合計画の特徴

- (1)平塚らしい計画
地理的特性を活かした独創性あるまちづくり
- (2)市民の視点に立った計画
身近で親しみやすく市民の視点を重視する
- (3)わかりやすい計画
まちづくりの目標を市民と共有し、わかりやすくする
- (4)効率的な行政運営をめざした計画
経済性などを考慮し、効率的な行政運営をめざす
- (5)まちづくりの成果が評価できる計画
目標がどの程度達成できたかを評価し、進行管理や施策の改善などができるようにする
今回は「次期総合計画の構成」についてです。

問 企画課(☎21-8760)

ひらつか10年物語

総合計画



未来に残したい豊かな自然

傍聴できます

教育委員会定例会を開きます

◇問い合わせ先 教育総務課(☎35-8113)

▷日時 ①8月29日(火) ②9月27日(水) 午後2時開会

▷会場 豊原分庁舎1号館1階会議室

原則としてどなたでも傍聴することができます。ただし、議題によっては傍聴できない場合があります。

今年の夏も中心商店街が 熱く盛り上がります



中心商店街を威勢良く練り歩いた昨年のみこしパレード

八月二十日(日)

2006 湘南ひらつか夏まつり

平塚駅北口の中心商店街が
お祭り会場に一変。みこ
しが練り歩き、太鼓の音が
響きわたります。
縁日や、夜店も出る「湘
南ひらつか夏まつり」にど
うぞ、お出かけください。

お問い合わせは、商業観
光課(☎35-8107)へ。

主なイベント

☆お祭りランド(湘南スター
モール)
・みこしパレード 「平塚
帝会万灯御輿」など四基の

みこしとみこし好きが集ま
り、鳴り響くお囃子にのっ
て練り歩きます。
▽時間 午後5時～7時
☆わくわくランド(紅谷パー
ルロードほか)
・太鼓フェスティバル 相
州平塚七夕太鼓保存会など
の勇壮な太鼓の演奏です。
▽時間 午後2時～4時
☆わいわいランド(新仲商
店会)
・黒潮つり大会 アジヤタ

見逃すな 博物館

開館時間を午後七時の延長 イベント・ミュージアム・ウィークを実施します

夏休み期間に博物館の開
館時間を延長し、普段来館
しにくい方を利用していた
だけのようにします。
▽期間 8月22日(火)～27
日(日)
▽延長時間 午後7時まで
(入場は午後6時30分まで)

期間中のイベント

・草笛コンサート
「湘南草笛の会」の松永昭

市民 豆ルポ

話題を追って
見応えのある舞台
にしたい…音楽劇



レポーター
清水武浩さん
(市政モニター)

創作音楽劇「亀の不思議
なおくりもの」が九月二十
三日、二十四日に市民セン
ターで上演されます。主演
の山口実穂さん(上写真・右)
と小林薫さんに聞きました。
須賀の昔話「須賀の亀」
を題材にした劇です。
口はきけないが、鳥や大
地と心を通わす不思議な女
の子、亀が昔須賀にいまし
た。大津波のときに自然の

異変の声に気づいて、村人
を救いましたが、自分は波
に飲まれてしまいました。
その百年後、旗本屋敷の娘、
松の背中には「亀」という
あざが現れた、という展開
です。
稽古は公演までに百回近
くするそうです。亀を演じ
る山口さんは言葉を使わな
い難しい役ですが「大勢の
人が見に来て昔の平塚の話
を知ってほしい」と話して
いました。また、松を演じ
る小林さんは「何かを感じ
取っていただけならうれし
い」と話していました。



市内高村で撮影

りんごの木のオナーに なってみませんか

友好都市・岩手県花巻市
の特産品花巻りんごの木品
種は「ふじ」のオナーを募
集します。
オナー期間は一年間(一
シーズン)で、生産者が管理、
収穫し、ご自宅へ発送します。
直接農園に出向いて、収
穫することもできます。

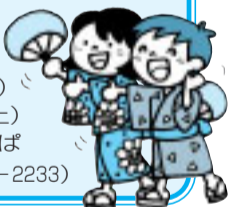
▽日時 8月24日(木)午後
5時～7時
▽会場 博物館入り口
・星を見る会
天体望遠鏡で夏の星空を
観察します。(参加自由)
▽日時 8月23日(水)午後
7時～8時30分 ※曇天中止
▽会場 博物館屋上
・コウモリ観覧会
丹沢湖ビジターセンター
の山口喜盛さんから話を聞
きます。コウモリの声を聞
くことができるかもしれま
せん。(参加自由)

▽日時 8月25日(金)午後
7時開演 午後6時30分開場
▽会場 プラネタリウム
▽定員 60人(先着順)
▽申し込み先 博物館(☎
33-5111)
・特別展の展示解説
学芸員が解説します。
▽日時 8月26日(土)午後
5時30分
▽会場 特別展示室
・田村ばやし演奏会
田村ばやし保存会による
演奏と印場連による踊りを
披露します。
▽日時 8月27日(日)午後
6時
▽会場 文化公園(博物館前)
お問い合わせは、博物館
(☎33-5111)へ。

2006 湘南ひらつか大盆おどり

心地よい夜風に吹かれながら
ゆかた姿でうちわを持ってお出
かけください。

▽日時 8月19日(土)・20日(日)
午後6時～9時(雨天中止)
▽会場 総合公園平塚のはらっぱ
▽問い合わせ先 総合公園管理事務所(☎35-2233)



心に染み入る音色と響き
生誕250年 オール・モーツァルト

Takeshi Kakehashi 梯 剛之 ピアノリサイタル

▽日時 11月10日(金)午後6時30分開演
▽会場 市民センター
▽曲目 モーツァルト「サルティの歌劇」ほか
▽入場料 一般3,000円、高校生以下1,200円(全席指定)
※身体障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方は1,200円
▽チケット販売 8月27日(日)午前10時から市民センター、山野楽器平塚ラスカ店、ヨネザワ楽器ほかで販売開始
▽問い合わせ先 文化財団(☎32-2237)

第24回文化講演会

テレビのワイドショーのレポーターとして活躍中
の東海林のり子さんを招いて講演会を開きます。

▽日時 9月16日(土)午後2時開演
▽会場 中央公民館
▽テーマ 「私の出会った素敵な人達」
▽対象 市内にお住まい、お勤めまたは通学し
ている方(先着701人) ※要入場整理券
▽申し込み方法 はがき(1人1枚)に住所、氏名、
年齢、電話番号(市外にお住まいの方は勤務
先、学校名)を記入し中央公民館(〒254-0047
追分1-20)へ
※手話通訳・要約筆記有り
▽問い合わせ先 中央公民館(☎34-2111)



自然環境を保持するための規制を変更

風致地区種別変更の説明会を開きます

◇問い合わせ先 都市政策課(内線2428)

国道134号沿いの松林を中心とした湘南海岸風致地区が対象です。

▽開催日時/会場 8月22日(火)午後7時～9時/なでしこ公民館
8月23日(水)午後7時～9時/花水公民館
8月24日(木)午後7時～9時/須賀公民館

健康福祉

敬老祝い品を贈ります

長寿のお祝い「敬老祝い品」を九月初旬に民生委員がお届けします。

対象は、九月十六日現在で次の年齢の方です。

▽対象 88歳(采寿)、99歳(白寿)、100歳以上の方

お問い合わせは、高齢福祉課(☎21-8778)へ。



▽対象 市内にお住まいで、就業を希望する60歳～65歳の方

▽定員 20人(抽選)

▽持ち物 せん定用はさみ、筆記用具、弁当、水筒など

▽申し込み方法 往復はがきに住所、氏名、生年月日、電話番号と返信面に住所、氏名を記入し、生きがい事業団(西八幡二丁目3-2-2)へ。

▽締め切り 8月22日(火) お問い合わせは、生きがい事業団(☎33-23335)へ。

植木のせん定方法を学びませんか

高齢で初心者の方を対象にした植木せん定講習会を開きます。ぜひ、ご参加ください。

▽日時 9月4日(月)～8日(金)午前9時～午後4時

▽会場 高齢者技能センター、総合公園

ふれあいバスカードを配ります

七十五歳以上の方に購入額の一部を負担していただき、販売額五千円のバスカードをお配りします。八月下旬に郵送するバス

心身の健康増進のための教室です

六十四歳までの方を対象に健康教室を開きます。ぜひ、ご参加ください。

▽日時 9月15日(金)午後1時30分～3時

▽会場 保健センター

▽定員 20人(先着順)

児童扶養手当などの手続きを

児童扶養手当や特別児童扶養手当を受けている方

みなさんこんにちは

豊かな自然に感動 次世代に平塚の自然を残したいですね



息子に孫の世話を頼まれ、長年暮らしていた藤沢から夫婦で引っ越してきました。平塚は、学生のころ通っていたのでなじみがありました。今は自然豊かな里山や湘南平を歩くのがとても楽しみです。また環境展をきっかけに自然を守る団体に入り、雑木林の手入れなど環境を守る活動にも参加しています。

このコーナーは、転入された方にお配りする市民生活ガイドブックの中のアンケートにご協力いただいた方の中から、ご紹介しています。 問 広報課(☎21-8761)

市民文芸「夏の部」入選作品

- 短歌 題自由(応募120首) 上野喜美子選
 - 一席 かつて住みし華北の黄砂 降るひと日わが庭木々の青葉が翳る 内海良子さん(豊原町)
 - 二席 川底に微かな風の立つと見せ 梅藻の花の白きがためたう 熊沢雅晴さん(老松町)
 - 三席 田植後のみどり深まる道の辺に 夜をしぼまん紅の萱草 石井進一朗さん(ふじみ野一丁目)
 - 一席 現代詩 題自由(応募13編) 升水昭夫選
 - 一席 「漏刻」(水時計) 岩本幸江さん(土屋)
 - 二席 「明日」 熊沢雅晴さん(老松町)
 - 三席 「三年目の初夏」 藤田早苗さん(桃浜町)
- 俳句 題「網戸」「百合」(応募288句) 山崎遊星選
 - 一席 張り替えて網戸の風の新しい 露木茂子さん(南金目)
 - 二席 山百合の壺にあふれし奈良井宿 今井奈都美さん(中原二丁目)
 - 三席 悦びて網戸抜けゆく紫煙かな 熊沢雅晴さん(老松町)
 - 川柳 題「元気」(応募196句) 紅谷寅治選
 - 一席 ベタルふむ後姿はまだ若い 平之内美津子さん(紅谷町)
 - 二席 真夜中にキックを飛ばす子の寝相 清田由紀枝さん(明石町)
 - 三席 百歳の鎌が風切る山の道 鈴木紀代子さん(大磯町)

提出場所 児童福祉課(市役所1階①番窓口)

★申請は随時受け付け

児童扶養手当や特別児童扶養手当の申請を随時受け付けています。なお、所得制限などの支給要件がありますので、必ずご相談ください。

●児童扶養手当 離婚や死別による母子家庭の母や父に代わって子どもを養育する方などに支給します

●特別児童扶養手当 障害のある20歳未満の子どもの扶養する方に支給します

お問い合わせは、児童福祉課(☎21-9612)へ。

不用品登録情報

お譲りします

リサイクルプラザ(☎51-5301)

◇譲ります

①有料 ベビーカー、マッサージチェア

②無料 子ども服(女の子用)、学習机、洗濯機、座布団、エアウォーカー(健康器具)、子ども用自転車、一輪車

●問い合わせ時に品物がない場合もあります

●問い合わせ時間 午前8時30分～午後5時

●ホームページに品物の詳細を掲載しています <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kankyo/>

●交渉は当事者同士でお願いします

◎不用品の登録やあっせんは随時、電話などで受け付けています。

高次脳機能障害の理解を深めよう

交通事故などによる外傷性脳損傷の後遺障害として、近年知られるようになった高次脳機能障害。しかし、まだ障害に対する理解が進んでいないといえます。

そこで知識や理解を深めていただくためのシンポジウムを開きます。ぜひ、ご参加ください。

▽日時 9月3日(日)午後1時～4時

▽会場 秦野市なでしこ会館(秦野市今川町1-3)

▽定員 100人(先着順)

▽内容 「脳機能と高次脳機能障害」と当事者の地域生活」と題した基調講演とパネルディスカッション

▽申し込み方法 電話またはファクスで、住所、氏名、電話番号を、NPO法人脳外傷友の会ナナ(☎・FAX 046-249-2020)へ。

お問い合わせは、障害福祉課(☎21-8774)へ。

防犯ワンポイントアドバイス

Point 5 自転車盗に遭わないために

自転車盗は、自転車のかぎを壊すなどして持ち去ります。

平塚市内では、1月から6月までに482件発生し、前年同期に比べ67件も増えています。

被害は、特に平塚駅周辺の紅谷町、代官町で多く発生しています。ちょっとした心がけで自転車盗は防げます。わずかな時間でも自転車から離れるときは、必ずかぎをかけましょう。

また、自転車の「防犯登録」は法律で義務づけられています。手続きは

有料ですが、万一盗難に遭い、自転車が発見された場合、「防犯登録」のデータから持ち主を調べ出して、持ち主にスムーズに返すことができます。

- 必ず防犯登録をする
- 駐輪するときはかぎを2つ以上かけるようにする
- 路上などに放置せず、駐輪場に置くようにする

問 市民安全課(内線2254)

馬入ふれあい公園で サッカースクールを開きます

レディースサッカースクール

▽コース/時間 9月6日～10月27日①毎週水曜日②毎週金曜日(各コース全8回)/午前10時～正午

▽定員/対象 50人(先着順)/市内にお住まい、お勤めの18歳以上の女性

親子サッカースクール

▽コース/時間 9月6日～10月27日①毎週水曜日②毎週金曜日(各コース全8回)/午後3時～4時30分

▽定員/対象 30組(先着順)/市内にお住まいの4～5歳児と保護者

お申し込みは、往復はがきまたはファクスに住所、氏名、年齢、電話番号、希望コースを記入し、馬入ふれあい公園管理事務所(〒254-0026中堂246-1・☎25-0106・☎25-0011)へ。

朝稽古を間近で見よう 大相撲高砂部屋が夏合宿

大相撲の名門高砂部屋が平塚で夏合宿をします。横綱朝青龍をはじめ、朝赤龍など、高砂部屋の人気力士の激しいぶつかり合いを見るチャンスです。

◆公開朝稽古 ▽日時 8月26日(土)～27日(日)午前8時開始 ▽会場 総合公園相撲場

※26日は子どもたちによるわんぱく相撲や、ちゃんこの試食会(午前11時から先着100食)もあります

◇問い合わせ先 総合公園管理事務所(☎35-2233)

情報館

◆コミュニティ備品をご利用ください

自治会や子ども会などの地域活動団体にコミュニティ備品を貸し出します。今回、十月から平成十九年三月までの利用申し込みを受け付けます。



- ▽貸し出し品 ポップコーン・綿菓子・かき氷の製造機、焼きそば台、おでんなべ、発電機、紅白幕、ワイヤレスマイク・アンプなど
- ▽希望日重複の場合は抽選
- ▽貸し出し期間 5日以内

みんなで減らそう！温室効果ガス

Vol.5

始めようCO₂CO₂プラン

日本の平均気温は一世紀の間に一度上がり、これは世界全体の気温上昇率の約二倍です。地球温暖化により「マラリア」など熱帯性感染症の発生範囲の拡大、「穀物生産量減少による食糧難」「砂漠化の進行や海岸の浸食」などの深刻な事態が予想されています。

CO₂が増える理由

環境への影響は、数十年後、数百年後に現れます。大したことはないと思っていると、いずれ取り返しのつかないことになるかもしれません。そうならないためには日々の暮らしの中での省エネは、非常に重要です。手遅れになる前に、できることから環境にやさしい行動を始めましょう。

環境政策課(内線2660)

CO₂CO₂プラン・わたしの取り組み

本多清さん(田村六丁目)

中学校で申し込み用紙をもらって始めました。部屋の明かりを消したり家電製品のコンセントを抜いたり既にしていたことが多くありました。ほかのメニューも試したいです。



▽申し込み期限 8月22日(火)

お申し込みは、市民活動課(内線2126)へ。

◆金目エコ・ミュージアムシンポジウムを開きます

豊かな自然や文化、歴史遺産、景観などに恵まれた金目地域。

この様々な地域資源を活用しながら、保存・展示する「金目まるごと博物館」を市民のみならずと協働で創りあげていくためのシンポジウムを開きます。

たくさんの方の参加をお待ちしています。

▽日時 8月27日(日)午後2時～5時

▽会場 金目公民館

▽対象 広川、片岡、千須谷、南金目、北金目、真田にお住まいの方、または金目地域で活動する団体などが優先となります。

▽テーマ 金目地域のもつ特性を将来に活かそう

お問い合わせは、社会教育課(☎35-8130)へ。

◆市民演劇フェスティバルを開きます

平塚を中心に活動する演劇団体による年に一度の祭典をこの度、お楽しみください。

▽期日 10月7日(土)・8日(日)

▽会場 中央公民館

▽開演時間/出演団体

・7日午後2時/湘南アクターズ

・8日午後1時/劇団カレライス、午後2時30分/神奈川県立芸術文化センター

▽入場料 五百円(全席自由・2日間ご覧になれます)

※チケットは市民センター、山野楽器平塚ラスカ店、ヨネザワ楽器、中央公民館内くすの木で販売しています。

お問い合わせは、文化財団(☎32-2237)へ。

◆リサイクルフリーマーケットに出店しませんか

今回で三十四回目を迎える「おもしろリサイクルフリーマーケット」に出店する方を募集します。

▽日時 10月7日(土)午前9時～午後3時 ※雨天中止

▽会場 総合公園

▽販売できないもの 飲食物、動植物、電化製品、リサイクルに関係のない手作りの品など

▽募集数 100店(抽選)

▽出店者協賛金 500円

▽申し込み方法 往復はがき(世帯、グループともに1

枚)に住所、氏名、電話番号、販売する物品名、当日の交通手段と返信面に住所、氏名を記入し、リサイクルプラザ(〒254-0014 四ツ宮七丁目3-5)へ

お問い合わせは、リサイクルプラザ(☎51-5300)へ。

◆16ミリ映写機の操作方法を学びませんか

映写機の操作技術の講習会を開きます。ぜひ、ご参加ください。

▽日時 9月16日(土)午前9時～午後4時50分

▽会場 中央図書館

▽対象 市内にお住まい、お勤めまたは通学している方

▽定員 20人(先着順)

▽テキスト代 五百円

▽持ち物 筆記用具

▽受付開始日 8月29日(火)お申し込みは、中央図書館(☎31-0415)へ。

◆小学生対象のワークショップに参加しませんか

藍染めのパンダを作るワークショップを開きます。

▽日時 8月25日(金)午後1時～4時30分

▽会場 美術館アトリエ

▽定員 小学生20人(先着順)

▽材料費 800円

お申し込みは、はがき、ファクスまたはEメールで美術館(〒254-0073 西八幡一丁目3-3・☎35-2774・art-museum@city.hiratsuka.kanagawa.jp・☎35-2111)へ。

◆イートブレディアス 駅伝に参加しませんか

友好都市花巻市で開かれる駅伝大会に、平塚市代表チームを派遣します。大自然の中を思い切り走ってみませんか。

▽日時 10月22日(日)午前8時15分スタート ※21日

▽会場 平塚競技場

社会福祉協議会嘱託職員を募集します

チーフアドバイザーとして働いてみませんか。

▷対象 保育士、幼稚園教諭またはそれに準じる資格を持つ人

▷募集人数 1人

▷勤務日時 週5日、午前9時～午後5時15分

▷賃金 月額169,200円

▷勤務場所 ファミリー・サポート・センター(南豊田381)

▷応募方法 履歴書に写真と資格証の写しを添えて9月5日(火)までに社会福祉協議会(〒254-0047 追分1-43)へ

▽社会福祉協議会(☎33-2333)

◆湘南地域創業フォーラムにご参加ください

お問い合わせは、交流親善課(☎25-2520)へ。

お勤めまたは通学する年齢16歳以上の女性で編成(ただし25歳以下の出場は2人まで)。なお、高体連、学連、実業団連盟の登録選手は除きます

▽距離 16キロ(5区間)

▽参加費 1人一万五千元(大会参加費と宿泊代は全額補助)

▽締め切り 8月31日(木)お申し込みは、交流親善課(☎25-2520)へ。

◆リサイクルプラザで体験教室を開きます

新聞のちらしを再利用してバスケットを作ります。

▽日時 8月29日(火)午後1時30分～3時30分

▽会場 リサイクルプラザ

▽定員 20組(先着順)

▽参加費 百円

お申し込みは、リサイクルプラザ(☎51-5300)へ。

◆日韓青少年交流サッカー試合を観戦しませんか

神奈川県・友好都市である韓国・京畿道の青少年選抜チームと県内の高校生選抜チームによるサッカーの親善試合です。ぜひ、お出かけください。

▽日時 8月25日(金)午前9時30分～正午

▽会場 平塚競技場

◆児童・生徒が語り合う集いに参加しよう

平塚市・秦野市伊勢原市、大磯町、二宮町の小・中学生、高校生が、暴力やいじめについて話し合います。一般の方もぜひ、ご参加ください。

▽日時 8月26日(土)午後1時10分～4時30分

▽会場 伊勢原市立中央公民館(伊勢原市東大竹1-21-1)

お問い合わせは、指導室(☎35-8120)へ。

◆「児童・生徒が語り合う集い」に参加しよう

平塚市・秦野市伊勢原市、大磯町、二宮町の小・中学生、高校生が、暴力やいじめについて話し合います。一般の方もぜひ、ご参加ください。

▽日時 8月26日(土)午後1時10分～4時30分

▽会場 伊勢原市立中央公民館(伊勢原市東大竹1-21-1)

お問い合わせは、指導室(☎35-8120)へ。

◆「児童・生徒が語り合う集い」に参加しよう

平塚市・秦野市伊勢原市、大磯町、二宮町の小・中学生、高校生が、暴力やいじめについて話し合います。一般の方もぜひ、ご参加ください。

▽日時 8月26日(土)午後1時10分～4時30分

▽会場 伊勢原市立中央公民館(伊勢原市東大竹1-21-1)

お問い合わせは、指導室(☎35-8120)へ。

◆「児童・生徒が語り合う集い」に参加しよう

平塚市・秦野市伊勢原市、大磯町、二宮町の小・中学生、高校生が、暴力やいじめについて話し合います。一般の方もぜひ、ご参加ください。

▽日時 8月26日(土)午後1時10分～4時30分

▽会場 伊勢原市立中央公民館(伊勢原市東大竹1-21-1)

お問い合わせは、指導室(☎35-8120)へ。

◆「児童・生徒が語り合う集い」に参加しよう

平塚市・秦野市伊勢原市、大磯町、二宮町の小・中学生、高校生が、暴力やいじめについて話し合います。一般の方もぜひ、ご参加ください。

▽日時 8月26日(土)午後1時10分～4時30分

▽会場 伊勢原市立中央公民館(伊勢原市東大竹1-21-1)

お問い合わせは、指導室(☎35-8120)へ。

◆「児童・生徒が語り合う集い」に参加しよう

平塚市・秦野市伊勢原市、大磯町、二宮町の小・中学生、高校生が、暴力やいじめについて話し合います。一般の方もぜひ、ご参加ください。

▽日時 8月26日(土)午後1時10分～4時30分

▽会場 伊勢原市立中央公民館(伊勢原市東大竹1-21-1)

お問い合わせは、指導室(☎35-8120)へ。

◆「児童・生徒が語り合う集い」に参加しよう

平塚市・秦野市伊勢原市、大磯町、二宮町の小・中学生、高校生が、暴力やいじめについて話し合います。一般の方もぜひ、ご参加ください。

▽日時 8月26日(土)午後1時10分～4時30分

▽会場 伊勢原市立中央公民館(伊勢原市東大竹1-21-1)

お問い合わせは、指導室(☎35-8120)へ。

◆「児童・生徒が語り合う集い」に参加しよう

平塚市・秦野市伊勢原市、大磯町、二宮町の小・中学生、高校生が、暴力やいじめについて話し合います。一般の方もぜひ、ご参加ください。

▽日時 8月26日(土)午後1時10分～4時30分

▽会場 伊勢原市立中央公民館(伊勢原市東大竹1-21-1)

お問い合わせは、指導室(☎35-8120)へ。

◆「児童・生徒が語り合う集い」に参加しよう

平塚市・秦野市伊勢原市、大磯町、二宮町の小・中学生、高校生が、暴力やいじめについて話し合います。一般の方もぜひ、ご参加ください。

▽日時 8月26日(土)午後1時10分～4時30分

▽会場 伊勢原市立中央公民館(伊勢原市東大竹1-21-1)

お問い合わせは、指導室(☎35-8120)へ。

◆「児童・生徒が語り合う集い」に参加しよう

平塚市・秦野市伊勢原市、大磯町、二宮町の小・中学生、高校生が、暴力やいじめについて話し合います。一般の方もぜひ、ご参加ください。

▽日時 8月26日(土)午後1時10分～4時30分

▽会場 伊勢原市立中央公民館(伊勢原市東大竹1-21-1)

お問い合わせは、指導室(☎35-8120)へ。

貸し出しています～ 広報ビデオ

★ビデオの一覧は市のホームページで「平塚発 メディア情報」→「平塚市提供の広報番組」→「広報ビデオ」

おすすめビデオ紹介

「平塚紀行-小松菜を巡る旅-」

平塚の知られざる姿や四季折々の様子などを紹介するビデオシリーズ「平塚紀行」。平塚の特産品である「小松菜」の歴史と、平塚で最初に栽培を始めた農家を紹介したビデオなどがあります。



小松菜生産農家の小泉さん一家

平塚の歴史や文化、人物、行政課題などをテーマにしたテレビ番組を、ケーブルテレビ(SCN・湘南ケーブルネットワーク)で放送しています。また、これまでに制作した番組のビデオを図書館や広報課で貸し出しています。ご利用ください。

▽お問い合わせは、指導室(☎35-8120)へ。

体験・馬入の渡し

馬入川に昔ながらの渡し船がよみがえります。明治初期まで実際にあった風景をお楽しみください。

- ▷日時 8月20日(日)午前9時～午後3時
- ▷会場 馬入川(相模川)の国道1号北側河川など
- ▷内容 馬入祇園囃子・相州平塚七夕太鼓保存会の演奏、松原小学校・江陽中学校の児童・生徒による合唱と合奏、模擬店、馬入川に生息する生物の写真展示など



昨年のクルーザー乗船会

- 〈クルーザー乗船会〉
- 茅ヶ崎沖の烏帽子岩までクルージングします
- ・出航時間 午後0時30分と2時(2回実施)
- ・乗船方法 出航予定時刻の30分前までに申し込む(抽選)

▽お問い合わせは、水政課(内線2621)

用途地域の変更案などがご覧になれます 真田・北金目地区の都市計画案

◇問い合わせ先 都市政策課(内線2428)

- ▷対象地区 真田・北金目土地区画整理事業地
- ▷縦覧期間 8月22日(火)～9月5日(火) ※土・日曜日は除く
- ▷時間 午前8時30分～午後5時
- ▷会場 都市政策課(市役所4階)

赤ちゃんの健康メモ

9月のカレンダー

会場・問い合わせ先は保健センターです。母子健康手帳を忘れずに。

母親父親教室

【前期 妊娠6か月までの方】

- 4日(月)午後1時30分～3時15分、歯の衛生・妊娠中の過ごし方
- 11日(月)午前10時～午後2時、調理実習で学ぶ妊娠中と産後の栄養(予約制)

【後期 妊娠8か月以降の方】

- 25日(月)午後1時30分～3時15分、お産の進み方と産後の過ごし方、呼吸法。祖父母教室も開催
- 29日(金)午後1時30分～3時30分、赤ちゃんのおふろ

子育て相談

【妊婦・新生児の訪問相談】

ご自宅で、妊娠中の健康管理や新生児に関する相談をお受けします(予約制)。

【育児相談】

生活、歯の衛生、食事の相談。

◇受け付け 毎週水曜日午前9時30分～10時30分

【ここに相談】

生活、食事の相談。
◇受け付け 13日(水)・27日

(水)午後1時30分～3時

乳幼児の健康診査

【乳児個別健康診査】

医療機関へ直接お申し込みください。実施医療機関の一覧表は保健センターでお配りしています。

◇4か月児対象(満4か月～5か月未満)

◇8～10か月児対象(満8か月～11か月未満)

【幼児集団健康診査】

受診日の1週間前までに案内を送ります。受け付け時間は午後1時～2時です。

※案内が届かない方はお問い合わせください。

◇対象 1歳6か月のお子さん(1歳7か月になる月が対象)

●実施日 5、12、19日(火)

◇対象 3歳のお子さん(3歳2か月になる月が対象)

●実施日 7、14、21日(木)

【歯科健康診査(予約制)】

歯の健康診査や相談、歯みがき実習など。

◇2歳1か月児対象

●13日(水)午後1時30分～2時30分



高橋萌ちゃん
平成17年9月10日生まれ
(入野)



山田暁大ちゃん
平成17年9月9日生まれ
(御殿二丁目)



遠藤航大ちゃん
平成18年4月17日生まれ
(中原二丁目)

応募方法 カラー写真の裏に赤ちゃんの氏名(ふりがな)・生年月日・住所・電話番号を記入し、広報課「赤ちゃんのステージ」係(〒254-8686 浅間町9-1)へ。

赤ちゃんのステージ

みんな元気に育ってね

対象は市内にお住まいの1歳未満(掲載時)の赤ちゃん。締め切りは前月の20日(抽選)。応募は1回あたり1通まで。掲載は1回のみ。今回の応募は46人でした。



堀江麦ちゃん
平成17年8月27日生まれ
(董平)



小澤咲希ちゃん
平成18年3月10日生まれ
(平塚二丁目)



坪井優里ちゃん
平成18年1月27日生まれ
(岡崎)

★応募写真は平塚市ホームページ「広報ひらつか」のコーナーでも紹介します。デジタル写真の応募も同サイトをご利用ください。

● 28日(木)午前9時30分～10時30分

離乳食の教室

離乳食の進め方など成長に合わせたコースです。1週間前までにご予約ください。

【ごっくん離乳食教室】

● 3～5か月児対象、28日(木)午後1時30分～2時40分

【もぐもぐ離乳食教室】

● 7～8か月児対象、1日(金)15日(金)午後1時30分～3時

【カミカミ離乳食教室】

● 9～12か月児対象、14日(木)午前10時30分～11時30分

【離乳食卒業教室】

● 1歳1か月～1歳5か月児対象、26日(火)午前10時30分～11時30分

分～11時30分

子育て教室

お子さんと一緒に学べる体験教室です(予約制)。

【すくすく子育て教室】

5～6か月児が対象。育児や遊び方など。「赤ちゃん」と絵本のつどい」同時開催

● 20日(水)午後1時30分～3時30分

【歯っぴい教室】

12か月～1歳3か月児対象。歯の手入れなど。

● 7日(木)午前10時～11時

【のびのびキッズ2歳児教室】

2歳児対象。時間は午前10時30分～11時30分です。

● 1日(金)接し方・親子遊び

- 8日(金)、食事と好き嫌い
- 15日(金)、虫歯予防とブラッシング

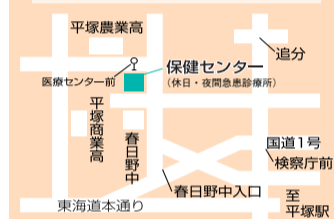
【おっぱい教室】

妊娠8か月～5か月児を持つ方が対象。母乳分泌や授乳方法など。

● 1日(金)午後1時30分～3時

保健センター

● 中里34-17
● ☎34-0311

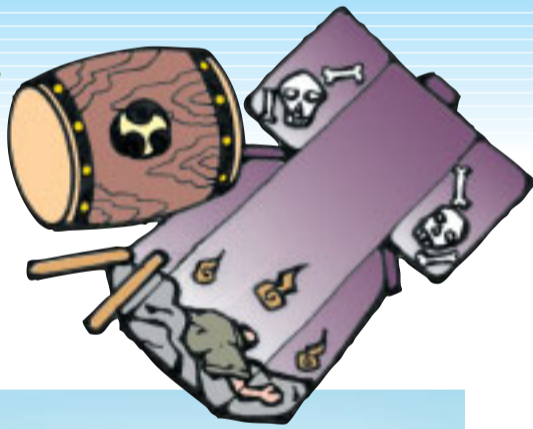


昔話

平塚歩

その5

そろいの浴衣 -寺田縄-



寺田縄に広がる水田。奥に見えるのは金田小学校



豊作が続いていたある年、寺田縄の若い衆が村の名主さんに、「今年の盆踊りでは新しい浴衣で踊らせてください。隣村で今年こしらえた浴衣は、袖に牡丹の花、裾には鯉が滝登りをしてる見事なものです。これに負けない浴衣をつくりたいのです」と口をそろえてお願いしました。名主さんはしばらく考え、「よし、分かった。隣村に負けないすばらしい浴衣をわたしがつくってあげようじゃないか」と。

しばらくして、そろいの浴衣ができあがったと聞いた若い衆が名主さんの家に行くと、そこにあったのは粗末で、袖には骸骨、裾には死人が横たわっている絵が描いてある不気味な浴衣でした。怒った若い衆が文句を言うと、名主さんは、「このところ米がたぐさんとれて、おまえたちはいい気になっている。だが、飢饉といって食べ物がないと、みんなこんな姿になってしまふんだよ」。

名主さんの話にみんなは納得し、それからは贅沢もせずに働き、盆踊りではこの気味の悪い浴衣で踊りました。それを見た隣村の人たちは、「なんてみすばらしい格好なんだ」と笑いました。

それから三年ほどして、大雨が続く、一帯は飢饉に見舞われました。贅沢を続けてきた村々は何も困りませんが、名主さんの言いつけを守り蓄えをしたこの村は、少しも困ることはなかったそうです。

※紹介した昔話は、「むかしはなし続平塚ものがたり/著者今泉義廣氏」を要約したものです。この本は市内の図書館で借りられます。

ひらつか図鑑

第29回 戦時下の日記



「旬日記」と平塚空襲を予感した昭和二十年二月十一日の記事

戦争の行く末を案じた『旬日記』

戦時下の市民の様子を知るには、日記が参考になります。博物館では、当時新宿(現在の見附町付近)に住んでいた斯波武綱さん(一八九三～一九六七年)の『旬日記』を保管しています。

この日記には、斯波さんが愛好了た俳句とともに、地域の様子や世情に関する思いが綴られています。例えば、平塚八幡宮前の藤棚越しに見える高射砲の様子を「高射砲構えし丘や藤の花」と詠み、また、配給米の減少を「精々俳句の本でも読んで、腹をすかさぬやうにするより他に途はない」と嘆きます。

しかし、この日記の大きな特徴は、軍や戦争への憂慮にあります。軍による言論統制を「軍は国民に何も知らさず、勝手に戦争して居るがよろしからん」と憤り、ドイツのV1ロケット開発を「また戦と何の関係ない多くの人の命が失はれるであらう。かうして各国共新兵器を作り殺し合っているうちに、終には自国で作った兵器で自国民の命を絶つことにならねばい、が」と危惧します。また、警戒警報と高射砲の轟音を聞き「平塚もいつか、悲惨時が起る前兆のやうに思はれる。これが戦争だと思へといふならば、さうも思はざるを得ないが、戦争と云ふもの八世の中で一番の罪悪だ」と平塚空襲を予感しています。

日記からは戦時下でありながら戦争を客観的にとらえ案じていた市民の姿がうかがえます。この日記は、今年博物館が刊行した『市民が探る平塚空襲』資料編(三)に収載されています。ぜひ、一読ください。

▽担当 博物館 ☎33-5111